

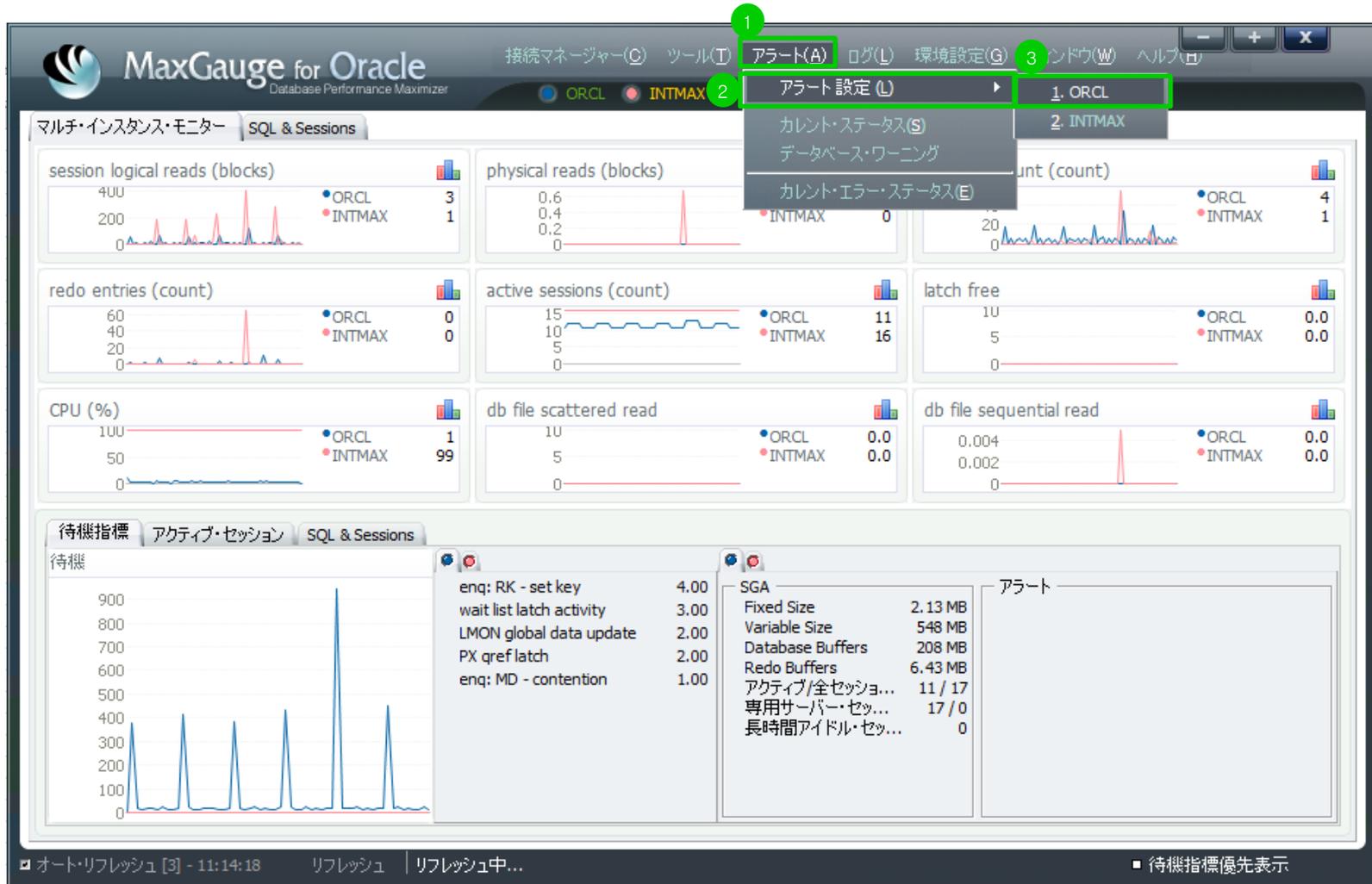
本TIPsは、以下の場面で活用します。

- ✓ バッファキャッシュヒット率の低下を素早く検知し通知する
- ✓ ディスクソート率の増加を素早く検知し通知する
- ✓ ハードパーシング率の増加を素早く検知し通知する
- ✓ 特定の比率指標の異常を素早く検知し通知する

※ システム稼働状況によって本手順の適切値と運用影響が異なりますので、本番環境への適用時には、事前に十分な検証を実施してください。

活用TIPs: 比率指標を監視する(1/3)

「アラート」、「アラート設定」、「インスタンス名」順に選択します。(例: ORCL)



The screenshot shows the MaxGauge for Oracle interface with the following components and annotations:

- Annotation 1:** Points to the **アラート(A)** menu item in the top navigation bar.
- Annotation 2:** Points to the **アラート設定(L)** sub-menu item.
- Annotation 3:** Points to the **1. ORCL** instance selection option in the dropdown menu.

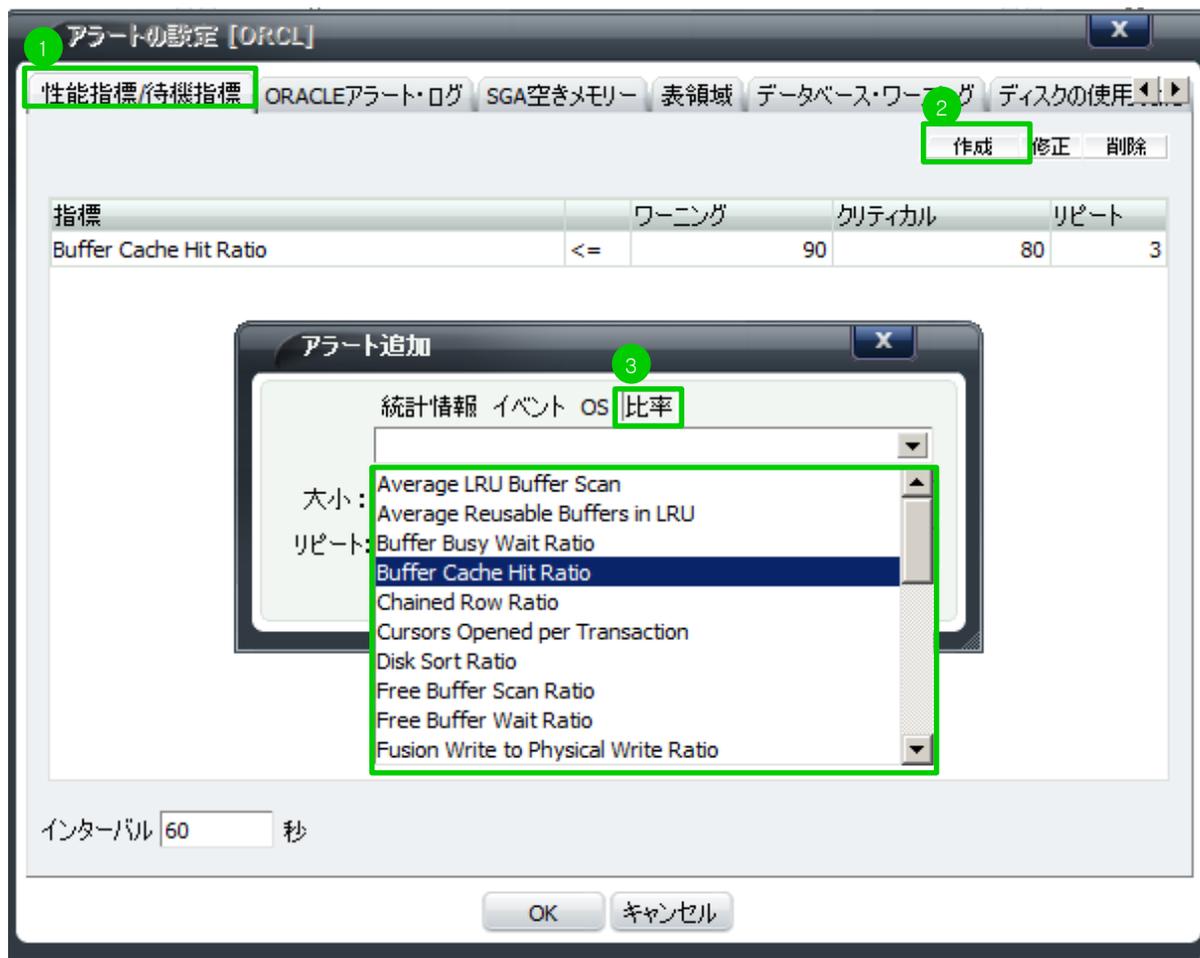
The interface displays various performance metrics for two instances: ORCL and INTMAX. The metrics include session logical reads, physical reads, redo entries, active sessions, latch free, CPU usage, db file scattered read, and db file sequential read. The bottom section shows a **待機指標** (Wait Events) table and an **アラート** (Alerts) panel.

待機指標	値
enq: RK - set key	4.00
wait list latch activity	3.00
LMON global data update	2.00
PX qref latch	2.00
enq: MD - contention	1.00

SGA	値
Fixed Size	2.13 MB
Variable Size	548 MB
Database Buffers	208 MB
Redo Buffers	6.43 MB
アクティブ/全セッション	11 / 17
専用サーバーセッション	17 / 0
長時間アイドルセッション	0

活用TIPs: 比率指標を監視する(2/3)

アラート設定で、「性能指標/待機指標」、「作成」順にクリックします。アラート追加で「比率」をクリックし、監視対象の比率指標を選択します。(例:バッファキャッシュのヒット率)



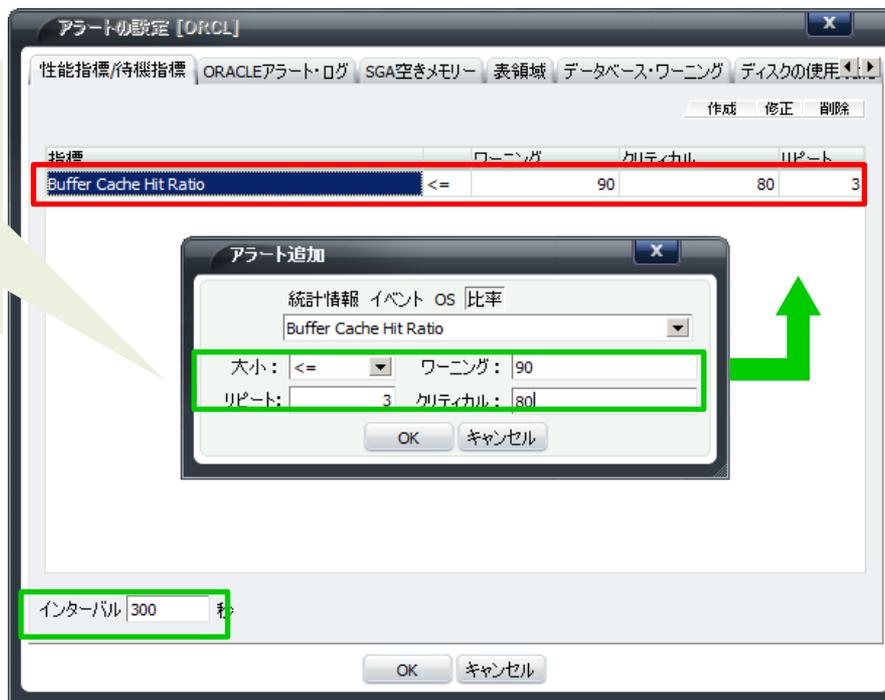
活用TIPs: 比率指標を監視する(3/3)

アラート追加で、「ワーニング」、「クリティカル」閾値と「リポート」、「インターバル」を設定します。

<推奨設定値>

監視対象(指標名)	大小	ワーニング	クリティカル	単位	リポート	インターバル
バッファキャッシュヒット率 (buffer cache hit ratio)	<=	90	80	%	3	300s

例では、バッファキャッシュのヒット率を5分間隔でチェックし、ヒット率が3回連続して90、80%を下回ったら、ワーニング、クリティカルのアラートを通知します。



👉 引き続き、メール設定を行う場合は MaxGauge TIPs 「[DBの死活監視を行う](#)」の4ページからご参照ください。



今回のTIPからは、以下の事を確認しました。

- ✓ バッファキャッシュヒット率の監視方法
- ✓ ディスクソート率の監視方法
- ✓ ハードパーシング率の監視方法



MaxGauge TIPsはこちら

http://www.ex-em.co.jp/exem_lab0/exemlabo_maxgauge_tips_index.html

<お問い合わせ>

日本エクセム株式会社

TEL: 03-4530-9598

e-mail: service@ex-em.co.jp

DATABASE **ARTIST** GROUP

<http://www.ex-em.co.jp>